

## 協議会結果及び議事録

会議名称	令和6年度第2回 長崎市公共交通活性化協議会		
日時	R7/3/14(金)	場所	長崎市役所5階 第1・2委員会室
出席者	別紙名簿のとおり		
議題	(1)長崎市公共交通アンケート調査結果について (2)長崎まちづくりのグランドデザインについて (3)令和7年度予算(案)について (4)その他		
結果	(1)長崎市公共交通アンケート調査結果について ・市民アンケート結果は、対象者や効果的な分析方法などについて意見があった。 (2)長崎まちづくりのグランドデザインについて ・取り組みイメージに対する意見があった。 (3)令和7年度予算(案)について ・原案通り承認。 (4)その他 ・長崎市タクシー協会より、日本版ライドシェアの概要説明。		
議事録	議題(1)	議題(1) 長崎市公共交通アンケート調査結果について  長崎自動車 ・問3)①について、「利用する機会(回数)が増えている」と回答した方が多いが、事業者としては減っていると感じている。 ・各設問ごとに地区別、年齢別でのクロス集計はしっかり分析を行ってほしい。 事務局 ・同様の見解を持っている。今回、高校生世代の回答が多く、バイアスがはたらいた可能性もあるので、それを加味して分析するなど検討する。 ・アンケート調査のクロス集計も併せて、ICデータの分析を実施しながら、様々な視点から分析していく  長崎県交通局 ・問1)④について、公共交通を利用する主な目的で幅広い世代から「買い物」が一番多い回答となっている。利用頻度は通勤や通学など世代によっては変わってくると思うので、クロス集計を併せて行ってほしい ・問3)①について、利用する機会(回数)は増えているかの設問で、コロナ前と比較してライフスタイルの変化による増減はあると思っている。便数が少ないとの意見が多かったが、アンケート結果は、利用実態から見えてこない意見もあり、それらも踏まえ運行便数等の検討していけたらと思っている。 事務局 ・年齢別、地域別の結果は資料1-2を併せて参考にさせていただきたい。  長崎電軌軌道 ・減便によりご不便をお掛けしているが、事業者として運行状況の配信や待合所の改善等でサービスの向上を実施し補っていくとしている。事業者として、時間帯や系統など少ないと感じている部分が分析できれば、今後のよりよいダイヤ作成の参考となる。 事務局 ・アンケートでは、時間帯ごとに把握できないが、求める便数と実際の運行便数との乖離は把握できるので、その視点をもって集計してみたい  長崎市保健環境自治連合会 ・高齢人口の回収数が少ない結果となり、人口構成比に近い回答数であれば、よりよいアンケート結果になっていたのではないかと感じる。 事務局 ・老年人口も、最低限の精度を確保するための数は集まっている。数だけではなく、高齢者の傾向を考えて分析も行えるので、世代間での意見の調整を行ってみたい。  長崎運輸支局 ・問3)①利用する機会が便利になった理由として、「運行状況などが調べやすくなった」と上げてるが、バスロケーションシステムの影響はかなり大きいと感じており、長崎市も積極的にアピールをしているのか。 事務局 ・広報ながさき等で周知を行っており、今後も機会を見て、積極的に周知を行っていきたいと思う。	

	<p>長崎バスグループ労働組合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問2)公共交通に対するイメージとして、「便数が少ない」は運転士不足で便数が減っているのが致し方ないと思っている。運賃は他都市と比較しても安いイメージだと感じている。</li> <li>・問6)路線維持ができなくなった地域は高齢化が進んでいる地域だと考えているが、路線廃止後の手段として「自分の車に他人を乗せて送迎すること」は敷居が高く、他の手段を検討していくべきでは。</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃については、長崎市が実施している市民向けの出前講座などで運賃の安さも説明している。</li> <li>・路線廃止後の移動手段については、地域や交通事業者の意見も聴きながら慎重に検討しようと考えている。</li> </ul> <p>長崎県警察本部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察という立場では交通事故の防止が重要になるが、交通機関の車内事故の件数も減少しており、運転士が優しくなったと感じている。高齢者の運転免許自主返納を推進していくために、買物や病院に行くときに、どの時間帯で必要なのか等もうまくダイヤへ反映し、高齢者にも寄り添った計画になってもらえればと感じている。</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見の視点も含めて検討していきたい。</li> </ul>
<p>議題(2)</p>	<p>議題(2) 長崎まちづくりのランドデザインについて</p> <p>長崎運輸支局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P8 取りまとめイメージの仕組みづくりについて、「新たなモビリティサービスの導入」とあるがどのようなイメージなのか。</li> </ul> <p>都市計画課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で具体的な案はないが、例えば陸の玄関口である長崎駅や、海の玄関口である松が枝国際ターミナルと各拠点を結ぶ際に移動をサポートするようなモビリティサービスも一つの案として考えられる。</li> </ul>
<p>議題(3)</p>	<p>議題(3) 令和7年度予算(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見なし</li> </ul>
<p>その他</p>	<p>その他</p> <p>長崎市タクシー協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日、長崎市の協力のもと日本版ライドシェア出発式を開催させていただく。</li> <li>日本版ライドシェアとは、タクシーが不足している時期、時間において、二種免許を持たない方でもドライバーになれる制度であり、全国的なタクシー不足を受け昨年より実施されている。長崎交通圏では、週末(金・土)において本日から実施となり、配車アプリから利用できるようになっている。</li> </ul>